

第3回 WG2, WG3 合同委員会議事要録

日 時：平成 25 年 5 月 22 日（水）13:30～16:30

場 所：JCI 第3会議室

出席者：[敬称略]

（委 員）中村秀明，大久保孝昭，杉山央，渡辺博志，有川智，上田洋，江里口玲，
西田朗，角倉英明，渡邊悟士，荒金直樹

（オブザーバー）相良貴光

（事務局）岡田遼

資料：

- | | |
|------------|-----------------------------------|
| 合同 No.3-0 | 第3回全体委員会議事要録 |
| 合同 No.3-1 | GPS 情報を活用したコンクリートのトレーサビリティシステム製作 |
| 合同 No.3-2 | 2012 年制定土木学会コンクリート標準示方書[施工編]の検査項目 |
| 合同 No.3-3 | コンクリート情報活用（共仕・示方書） |
| 合同 No.3-4 | コンクリート情報活用（製造 JIS A 5308） |
| 合同 No.3-5 | コンクリート情報活用（施工 JIS A 5308） |
| 合同 No.3-6 | コンクリート情報活用（供用） |
| 合同 No.3-7 | コンクリート情報活用（JASS5） |
| 合同 No.3-8 | コンクリート情報活用（製造／施工）① |
| 合同 No.3-9 | コンクリート情報活用（製造／施工）② |
| 合同 No.3-10 | コンクリート情報活用（鉄道構造物） |
| 合同 No.3-11 | コンクリート情報活用（集合住宅） |
| 合同 No.3-12 | 第4回 WG1 委員会議事要録 |
| 合同 No.3-13 | トレーサビリティ関連「技術系統（研究開発グループ）リスト」 |
| 合同 No.3-14 | 「コンクリートのトレーサビリティ」に関する特許検索 |
| 合同 No.3-15 | JCI-TC-123A WG 所属 |
| 合同 No.3-16 | 平成 25 年度の今後の委員会予定について |

1. 全体委員会及び WG の議事内容の確認

○資料 合同 No.3-0 を用いて WG2 の議事について、確認された。

- ・今回から，(株)ウェルキャット相良貴光氏がオブザーバーとして参加して頂く。
- ・8 月を目途に運用システムのプロトタイプを作成したい。

- ・各委員の意見を集め、開発ソフトに反映していくつもりである。

2. WG2 の議事内容（開発ソフトについて）

○資料 合同 No.3-1 を用いて WG2 の開発ソフトおよびシステムについて議論した。

・8月を目途にプロトタイプを作成し、各委員からの意見を聞いて改良する。完成したものを実証実験で使用する予定である。

・生コン生産情報は、データベース案が示されているが各生コン工場によって形式が異なるのが現状である。統一できれば良いが、情報の選定には検討が必要。

⇒WG3 でまとめた結果を受けて対応したい。

・本来の情報の流れとしては、生産者が上流、施主が下流とすれば、完成後は下流から上流へ遡ることが出来る必要がある。

3. WG3 の議事内容

○資料 合同 No.3-2～No.3-11 を用いて WG3 における議論を行った。

- ・示方書の検査項目の説明。
- ・JISA5308 の検査項目の説明。
- ・コンクリート製造情報の説明。
- ・JASS 5 による情報活用の説明。
- ・JCI ひび割れ指針の検査項目の説明。
- ・鉄道構造物の検査項目の説明。
- ・集合住宅の維持管理に必要な情報の説明。
⇒各材料をロット毎に管理してはどうか。

・活用するための情報を選定すべき。責任を明確化するために使われることが多いが、原因究明から技術向上に繋がるような情報の使い方の方が良い。

⇒情報を利用する主体が誰かによって活用方法が異なる。

⇒再生骨材の利用にトレーサビリティを活用できれば、骨材の信頼性が向上し再生骨材の利用促進に繋がる。

⇒情報化することで、中古住宅の価値を高めた事例もある。

⇒データを入力した人（情報作成者）の情報を追加したい。

4. WG4 の議事内容

○資料 合同 No.3-12～No.3-14 を用いて WG1 について進捗の報告があった。

・文献調査によって、研究開発責任者をグループ分けした。これからアンケート調査を行いたい、委員の協力をお願いしたい。

・文献調査の中に、収集しきれない論文があるので委員の協力をお願いしたい。

- ・コンクリートトレーサビリティの特許検索のまとめ方について報告があった。

5. WG4（実証実験）の設置について

○資料 合同 No.3-15 により，WG4 の設置について提案があった。

- ・試行実験の計画立案・準備を進めるための WG であり，設置が了承された。

6. その他

- ・報告会について，会告に 2～3 カ月必要なので 9 月中旬から 10 月に掛けて行う。

- ・今後の活動について，第 4 回全体委員会 8 月 9 日（金）13:00-18:30

第 5 回全体委員会 10 月 17 日（木）13:00-18:30

第 6 回全体委員会 12 月 12 日（木）13:00-18:30

- ・1 月の全体委員会は，宇都宮大学で試行実験を兼ねて開催するが，日程は杉山委員長より後日連絡する。

以上